

# 2017 年度研究実績

## 1. 論文

### (1) 原著

- 1.Kanoto M, Kirii K, Hiraka T, Toyoguchi Y, Sugai Y, Matsuda K, Sakurada K, Sonoda Y, Hatazawa J, Hosoya T : Correlation between Hypoxic Area in Primary Brain Tumors and WHO Grade:Differentiation from Malignancy Using 18F-fluoromisonidazole Positron Emission Tomography. Acta Radiol.2017; 59 (2) :229-235
- 2.Sakurai K, Kanoto M, Nakagawa M, Shimohira M, Tokumaru A, Kameyama M, Shimoji K, Morimoto S, Matsukawa N, Nishio M, Shibamoto Y : Dinosaur tail sign: A useful spinal MRI finding indicative of cerebrospinal fluid leakage. Headache. 2017; 57 (6) :917-925 B

### (2) 総説及び解説

- 1.鹿戸将史：脳腫瘍画像診断の要点（Key points of image diagnosis in brain tumors.）NEURO・IMAGING CONFERENCE 筑後・佐賀症例集. 2017; 21 : 10-15
- 2.鹿戸将史：薬剤関連進行性多巣性白質脳症（PML）-ナタリズマブ関連 PML を中心に-. 臨床画像. 2017; 33 (12) :1400-1405
- 3.豊口裕樹, 影山 咲子, 伊東 一志, 細矢 貴亮：消化管・腹膜腔・腸間膜疾患 ～これはもう、思わず飛び付く画像診断～. 臨床画像. 2017; 33 (7) :790-800

### (3) 著書

- 1.影山咲子,鹿戸将史：腺性下垂体紡錘形細胞オンコサイトーマ（Spindle cell oncocytoma of the adenohypophysis）. 三木幸雄,佐藤典子, 下垂体の画像診断. 東京; メディカルビュー社, 2017: 147-150
- 2.鹿戸将史：T2 強調画像・FLAIR 画像で高信号を呈する白質の対称性びまん性病変の鑑別. 青木茂樹,大場洋, 診断のポイント.東京; 秀潤社, 2018 : 76-80

## 2. 学会報告及び座長

### (1) 国際学会

#### i 一般演題

- 1.Toshitada Hiraka , Masafumi Kanoto , Yuuki Toyoguti , Yoshihiro Konno , Yasuhiro Sugai, and Takaaki Hosoya. Detectability and anatomical location identification of cholesteatoma with thin-slice non-echo planar imaging diffusion-weighted image (nEPID) using fused nEPID and CT (nEPID-CT) . The ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition, ハワイ; 2017 年 4 月

## (2) 国内の学会

### i 特別講演・招待講演・会長講演

1. 鹿戸将史：脳血管・脳腫瘍への MSDE の応用．Philips Radiology Summer Seminar 2017, 大阪；2017 年 7 月

### ii 一般演題

1. 鹿戸将史, 平賀利匡, 豊口裕樹, 渡會文果, 桐井一邦, 根本建二：iMSDE combined AntiDrive-3D-TSE Black-Blood imaging による分枝脳動脈解離における微小壁内血腫の描出．日本磁気共鳴医学会, 宇都宮；2017 年 9 月

2. 平賀利匡, 鹿戸将史, 豊口裕樹, 齊藤晋太郎, 小林篤紀, 紺野義浩, 渡會文果, 桐井一邦, 根本建二, 細矢貴亮：帽状腱膜の肥厚, 造影増強を認めた側頭動脈炎の 1 例．第 53 回日本医学放射線学会秋季大会, 愛媛；2017 年 9 月

3. 菅井康大, 鹿戸将史, 桐井一邦, 根本建二：神経膠腫における 18F-Fluoromisonidazole PET と予後の検討．日本核医学会, 横浜；2017 年 10 月

## (3) 国内地方会

### i 特別講演・招待講演・会長講演

1. 鹿戸将史：基調講演（診断）．第 6 回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー, 山形；2017 年 6 月

### ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

1. 豊口裕樹：研修医セミナー ～「恥じらい」と「読影道」～. 第 6 回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー, 山形；2017 年 6 月

### iii 一般演題

1. 平賀利匡, 鹿戸将史, 渡會文果, 桐井一邦, 豊口裕樹, 新野一穂, 高梨悠, 東野大樹, 根本建二：巨細胞性動脈炎の 2 例．第 136 回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形；2017 年 6 月

2. 平賀利匡, 鹿戸将史, 齊藤晋太郎, 豊口裕樹, 根本建二：脊髄神経膠腫における頭蓋内脳実質内進展症例の検討．第 137 回日本医学放射線学会 北日本地方会, 宮城；2017 年 10 月

3. 齊藤晋太郎, 鹿戸将史, 平賀利匡, 小林篤紀, 木村雅俊, 小笠原理希, 矢野菜津子, 根本建二：Primary Glioblastoma の初期像 2 例における画像所見の検討．第 137 回日本医学放射線学会北日本地方会, 山形：2017 年 6 月

## (4) 研究会

### i 特別講演・招待講演・会長講演

1. 鹿戸将史：Vessels' Wall Imaging using Multislices Motion Sensitized Driven Equilibrium (MSDE) ; Focused on Intracranial Arterial Dissection. AIMS Neuro Imaging 2017, 東京；2017 年 10 月

## ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

1. 鹿戸将史：Practice of Superselective Transarterial Infusion Therapy of High-dose Cisplatin with Concomitant Irradiation on Head and Neck Cancers; Focused on the Maxillary Cancer. 頭頸部放射線研究会, 松山; 2017 年 9 月.
2. 鹿戸将史：ナタリズマブ関連進行性多巣性白質脳症の画像診断. 第 534 回 NR 懇話会, 東京; 2017 年 12 月

## iii 一般演題

1. 鹿戸将史, 桐井一邦, 平賀利匡, 豊口裕樹, 根本建二, 園田順彦：脳腫瘍における FDG/Methionine index PET image による高糖代謝域と悪性度の評価. 第 18 回山形ニューロサイエンス・医工学研究会プログラム, 山形; 2017 年 6 月
2. 平賀利匡：側頭動脈炎の症例を見直して. 山形 CT・MRI 研究会, 山形; 2017 年 9 月.
3. 豊口裕樹, 齋藤晋太郎, 渡會文果, 桐井一邦, 小林篤紀, 平賀利匡, 進藤秀樹, 木村雅俊, 新野一穂, 高梨悠, 東野太樹, 矢野菜津子, 小笠原理希, 鹿戸将史：上腕部皮下埋め込み型中心静脈リザーバースystemのカテーテルが抜けなくなった 1 例. 第 20 回山形県 IVR 研究会, 山形; 2017 年 11 月

## (5) 座長

### i 特別講演・招待講演・会長講演

1. 鹿戸将史：ガドリニウム造影剤の脳内蓄積懸念による添付文書改訂について. 第 17 回山形デジタル画像セミナー, 山形; 2018 年 3 月

## (6) その他

1. 鹿戸将史：中枢神経系の造影 MRI-ガドビストの使用経験を含めて-. ガドビスト Web カンファレンス, 東京; 2017 年 7 月

## 3. 学会等での受賞

1. 平賀利匡, 鹿戸将史, 齋藤晋太郎, 豊口裕樹, 根本建二：脊髄神経膠腫における頭蓋内脳実質内進展症例の検討. 第 137 回日本医学放射線学会 北日本地方会, 宮城; 2017 年 10 月
2. 平賀利匡：優秀演題賞. 2017 年 10 月

## 4. その他

1. フィルムリーディング参加 平賀利匡：第 30 回頭頸部放射線研究会, 愛媛; 2017 年 9 月
2. フィルムリーディング参加 平賀利匡：第 37 回神経放射線ワークショップ, 岐阜; 2017 年 7 月